

喜界島で脱炭素推進

三井住友 銀など 地域活性化へ協定

三井住友銀行、三井住友ファイナンス&リース(SMFL)、千代田化工建設、鹿児島県喜界町の4者は17日、喜界町地域脱炭素ビジョンの推進と地域活性化に向けた包括連携協定を結んだと発表した。島の文化や自然、景観を保全、継承しながら、2050年までに二酸化炭素(CO₂)排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンアイランド」の実現を目指す。

三井住友銀など 地域活性化へ協定

三井住友銀行、三井住友ファイナンス&リース(SMFL)、千代田化工建設、鹿児島県喜界町の4者は17日、喜界町地域脱炭素ビジョンの推進と地域活性化に向けた包括連携協定を結んだと発表した。島の文化や自然、景観を保全、継承しながら、2050年までに二酸化炭素(CO₂)排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンアイランド」の実現を目指す。

喜界町は奄美群島の喜界島一島を町域とする。人口は約6000人で、少子高齢化に伴い人口減少が進行している。

今後、4者は再生可能エネルギーの普及や災害レジリエンス(復元力)の強化、脱炭素